

(2) MAFF 301072 (農業生物資源研究所, NIAS Genebank)

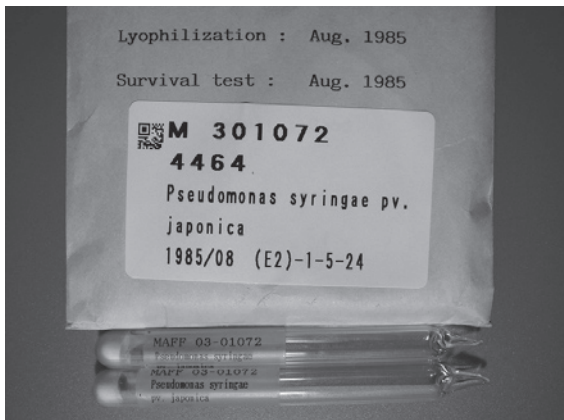
本菌株は NIAS Genebank 保存細菌の中では最古参の1つであり、数奇な運命を辿ってきた曰く付きの一品である。話は「ムギ類穂焼病」が猛威をふるっていた戦後間もない頃にまで遡る。当時、その病原細菌は“*Aplanobacter hordei*”とされていたが、保存培養がなく Approved Lists からは除かれた。一方で、旧農業技術研究所の向 秀夫博士は本病を「ムギ類黒節病」として報告し、病原を“*Pseudomonas striafaciens* var. *japonica*”とした(向, 1955)。本菌株はその基準株であり、1951年に六条オオムギの病斑から

分離されたものである。その後、植物病原細菌の分類に pathovar が導入されるに伴い、その学名は *Pseudomonas syringae* pv. *japonica* (Mukoo 1955) Dye, Bradbury, Goto, Hayward, Lelliott & Schroth 1980 と変更された (Dye *et al.*, 1980)。その間、黒節病が発生するたびに本菌株は診断同定の比較対照株として広く利用されてきた。しかし、pv. *japonica* の分類学的地位は必ずしも安泰ではなく、pv. *syringae* のシノニムではないかとの意見もある (Young, 1992)。いずれにせよ本菌株はオオムギの特異的病原であることに変わりはないが、今後も分類の変遷に翻弄され続けるのであろうか？

Dye, D.W., Bradbury, J.F., Goto, M., Hayward, A.C., Lelliott, R.A. & Schroth, M.N. 1980. International standards for naming pathovars of phytopathogenic bacteria and a list of pathovar names and pathotypes. *Review of Plant Pathology* **59**: 153-168.
向 秀夫 1955. 麦類の黒節病, 特にその病原細菌に就いて. 栃内・福士両教授還暦記念論文集: 153-157.

Young, J.M. 1992. *Pseudomonas syringae* pv. *japonica* (Mukoo 1955) Dye *et al.* 1980 is a junior synonym of *P. syringae* pv. *syringae* van Hall 1902. *Letters in Applied Microbiology* **15**: 129-130.

(澤田宏之)



旧農水省ジーンバンク発足当時製された MAFF 301072 の凍結乾燥アンプルと収納袋。